

1【英語科の目標（学習指導要領）】

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞く、読む、話す、書くことの活動を通して、情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

【本校英語科の目標】

主体的に学ぶことを通して、場面・状況に応じた積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成（英語の学習で身につけること）

- 英語の音声・語彙・表現・文法・言語の働きなどを理解する。また、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につける。
- コミュニケーションを行う場面や状況に応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えを理解したり、活用し表現や伝え合ったりすることができる力を身につける。

2【学習内容】

英語科では【聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くこと】の4技能5領域を学んでいきます。各領域の中では、情報を聞き取る・概要/要点を捉える・即興で話す、伝え合う・まとまりのある文章を書くことなどの内容を、日常的な話題・社会的な話題の中で学習していきます。

3 3年間の学習計画（5ラウンド形式）

	1学期	2学期	3学期
全 学 年 共 通	ROUND1: リスニングを中心とした教科書の概要把握 ROUND2: 音声と文字の一致 ※フォニックス、アルファベット、基本的な単語や表現 ※1学年のみ	ROUND3: 新出語句、新出文法を確認しながら、音読を通して内容理解をしていく。 ROUND4: 文の構造（文法など）を意識した音読（穴埋め音読シートなどの利用）	ROUND5: ストーリーテリング（教科書の内容を自分の言葉で他者に伝える活動）と自分の考えや思いを伝える。
	年間を通してスピーチやプレゼンテーションなどのパフォーマンステスト及び小テスト（単元テスト）を実施する。		

各学年で扱う文法事項

1学年	be動詞 一般動詞 can 疑問文 三人称単数現在 疑問詞 過去形 現在進行形 など
2学年	過去形 過去進行形 接続詞 動名詞 不定詞 未来形 There is(are) 目的語 助動詞 比較級 受け身 など
3学年	受け身 現在完了形 現在完了進行形 It to 構文 関係代名詞 分詞 間接疑問文 疑問詞+不定詞 仮定法のうち基本的なもの など

4【評価の観点と方法】

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

①〈知識・技能の評価について〉

各単元で扱う言語材料（語彙・文法等）を正しく使っているかを評価します。

①②は定期テスト、小テスト、パフォーマンステスト等で評価します。

②〈思考・判断・表現〉

コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、適切に言語材料を使っているかを評価します。知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

③〈主体的に学習に取り組む態度〉

英語の背景にある文化への理解を深め、主体的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとし、さらに粘り強く学習する態度を評価します。定期テスト以外でのテストや授業内で行う活動への参加度、取り組み姿勢で評価します。

5 家庭学習のしかた

授業では、日々新しい表現に触れ、教科書内容を進めていきます。教科書にQRコードがあり、家庭で音声を聞いて音読練習ができますので、日々の予習復習に役立ててください。ワークは授業で進んだところを適宜進めておくとテスト前に余裕を持って復習ができます。また小テスト等を活かして日々の学習習慣を少しでもつけていきましょう。